

「学部・奨励学生」募集要項(概要)

※詳細は、年度毎に公表される『募集要項』で確認してください。

申請時期は、3年次・秋学期(9月頃)です。

1. 募集人数 20名程度

2. 申請資格 申請時において以下の資格をすべて満たすこと。

- (1) 本学文化情報学部に2014年4月以降に入学し、申請時において、5セメスター以上の期間在学している者。(※当制度は、2013年度以前生には適用されません。)
- (2) 本研究科への進学を希望し、本学大学院文化情報学研究科教員からの推薦を受けた者。
- (3) 3年次春学期までに修得した科目的GPA。^(※)
(※)GPAが、年度毎に『募集要項』で公表される評点以上の者。
- (4) 3年次秋学期終了時点で「卒業研究I」「卒業研究II」以外の卒業必要単位数である116単位以上を修得する見込みの者。
(※各科目群に定められた卒業要件の単位修得の状況は問わない)
ただし第3次編入生ならびに転入生の単位取得要件は、次のとおり。
3年次秋学期終了時点で「卒業研究I」「卒業研究II」以外の全ての必修科目的単位を含め、卒業必要要件に算入される単位数100単位以上を修得する見込みの者。

注)「学部・奨励学生」に決定後、申請年度の3月末において上記(1)～(4)に定めた条件を満たすことができなかった場合、その決定は取り消されます。

3. 申請書類

- 「学部・奨励学生／申請書」
「学部・奨励学生／研究計画書」

申請書類は文化情報学部HPよりダウンロードできます。

■ イラスト解説 (※本誌イラストを解説します。)

「学部・奨励学生」の認定を受けた学生も、学部4年次では、「卒業研究」をはじめ、学部を卒業するために必要な単位の取得が必要であることに変わりはありません。その上で、大学院に設置された科目を並行して履修します。本誌イラストでは、「学部・奨励学生」の認定を受けた後、大学院を修了するまでに、幾つかの進路選択が可能であることを紹介しています。履修する大学院科目や単位の取得状況などによって、次のような進路に分かれます。イラストと合わせて参照してください。

■ 「学部・奨励学生」が、学部4年次に、『定められた大学院科目(「シンポジウム1・2」「文化情報学研究実験I・II」)』を履修し、かつ審査を経て合格となった場合、大学院進学後は、「大学院・奨励学生」として科目履修や研究を行うことが認められます。「大学院・奨励学生」は、「入学前単位認定」が受けられるほか、大学院1年次で修了に必要な要件を満たし、かつ審査に合格すれば、「早期修了」が可能です。

■ 「学部・奨励学生」が、学部4年次に、『定められた大学院科目(「シンポジウム1・2」「文化情報学研究実験I・II」)』を履修した場合でも、審査の結果合格とならない場合は、「大学院・奨励学生」の認定を受けることはできません。それでも、大学院入試では「特別推薦制度」を利用することができます。また、「入学前単位認定」を受けることも可能なため、大学院(博士課程前期課程)ではより研究に集中することが可能です。

上記で説明された「シンポジウム1・2」「文化情報学研究実験I・II」を学部4年次に履修することは必須ではありません。学部4年次にこれらの科目を履修しない場合、大学院進学後、「大学院・奨励学生」となることはできませんが、上記の場合と同様、「特別推薦制度」を利用して大学院を受験することや「入学前単位認定」を受けることができます。

■ 用語解説 (※本誌で使用している用語を解説します。)

学部・奨励学生

文化情報学部4年次に在籍しながら、大学院文化情報学研究科に開講される科目を履修することが認められる学生のことです。「学部・奨励学生」として認定されるためには、募集要項にもとづいて申請し、審査に合格することが必要です。「学部・奨励学生」は、「卒業研究」をはじめ、通常の4年次生と同じように学部での履修を行なながら並行して大学院の授業を履修します。

文化情報学研究科で開講される科目(「大学院科目」)を履修する際の履修条件等

- ① 文化情報学研究科が第1・2セメスターに開講する授業科目の中から、10単位以上を履修しなければならない。
- ② ①による履修は、『学部における「自由科目(*)」』として登録履修する。
(*)学部における当該年度の最高登録単位数に含まれるが、学部の卒業要件単位数には算入されない。

大学院・奨励学生

「学部・奨励学生」の認定を受けた学生が、学部4年次で所定の大学院科目の履修を行い、審査に合格すると、大学院文化情報学研究科へ進学後は、「大学院・奨励学生」として認められます。「大学院・奨励学生」には、大学院進学後、1年間で修士論文を提出することが認められます。

「大学院・奨励学生」として大学院へ進学する場合の条件

- ① 学部4年次生の期間に「学部・奨励学生」として大学院科目を10単位以上修得すること。
- ② 学部4年次生の期間に「シンポジウム1・2」「文化情報学研究実験I・II」の単位を修得し、かつ所定の審査に合格すること。
- ③ 学部4年次生の年度末に学部卒業の要件を満たすこと。
- ④ 所定の入学試験に合格すること。

入学前単位認定

「学部・奨励学生」は学部在籍中に大学院科目を先行して履修しますが、取得した大学院科目の単位は、大学院進学後、15単位を上限に単位認定を受け、大学院での取得単位に算入することができます。これを「入学前単位認定」と言います。

早期修了

「大学院・奨励学生」が1年間で修士論文を完成させ、かつ大学院前期課程を修了するに必要な要件を全て満たした上で審査に合格すると、前期課程を1年間で修了することができるようになります。1年間で修士の学位を取得することを「早期修了」と言います。

文化情報学研究科博士課程(前期課程)入学試験

大学院へ進学する際、入学試験を受験します。これは、「学部・奨励学生」が文化情報学研究科に進学する際も同じです。文化情報学研究科の入学試験は、年2回([秋期実施] [春期実施])実施されます。どちらの機会に受験しても構いません。なお、「学部・奨励学生」が大学院入試を受験する際、「一般入学」による受験とは別に設けられた「特別推薦制度」を利用することができます。一般に受験する場合と、受験科目などは異なります。詳しくは、入試要項を参照してください。

(注1)「特別推薦制度」によって大学院へ入学する場合、入学後、一部の奨学金において給付対象とならないことがあります。

(注2)審査1、審査2とは別に、大学院入試を受験する際、出願書類として「研究計画書」の提出が必要。([秋期実施] [春期実施]ともに)



同志社大学文化情報学部・文化情報学研究科 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3

TEL. 0774-65-7610 FAX. 0774-65-7618 E-mail. jt-bnkm@mail.doshisha.ac.jp URL. http://www.cis.doshisha.ac.jp